

所 属	県土整備部技術検査課		
係 名	入札制度係・建設技術係・建設業係	内線	2292・2294・3647

## 建設業を担う人材の育成・確保

1 事業費	62,925 (前年度 6,341)			
	【財源内訳】		【主な用途】	
	国庫	28,258	補助金	49,645
	一般財源	34,667	需用費他	13,280

### 2 背景・事業目的

建設業は、地域防災力の要として重要な役割を担っているが、就労者の高齢化により、今後10年間で大量の離職が見込まれ、将来の担い手不足が懸念されている。

このため、労働環境の改善やICTの活用により、建設業の魅力向上と建設現場の生産性向上を図るとともに、建設業を担う幅広い層を対象とした人材育成・確保のための取組みを実施し、持続的に建設業の担い手の育成・確保を行う。

### 3 事業概要

- 新** (1) 建設ICT人材育成センター(仮称)の開設・運営(49,645千円)  
建設業人材の育成・確保の拠点である「建設ICT人材育成センター(仮称)」の開設・運営や、技術力向上を目的とした研修、建設業の魅力発信等に要する経費を助成する。
- (2) ぎふ建設人材育成リーディング企業認定制度の運用(3,600千円)  
・労働環境の改善や人材の育成等に積極的に取り組む企業を認定し、建設業のイメージアップを図る。  
**新**・認定企業を評価する「人材育成型」総合評価落札方式を試行する。
- (3) 建設現場の環境改善・生産性向上のためのモデル工事の実施  
・建設現場の労働環境の改善を目的に「週休2日制モデル工事」や「快適トイレ・休憩所導入モデル工事」を実施する。  
・建設現場の生産性や安全性の向上を目的に「ICTを活用したモデル工事」を実施するとともに、同モデル工事において新たに採算性の低い小規模工事への支援を行う。
- 新** (4) オール岐阜・企業フェスでの建設業の魅力発信(9,680千円)  
企業及び学生が集う県内最大規模の「オール岐阜・企業フェス」に参加し、建設業の魅力を発信する機会を創出する。また、学生にとって魅力的な機会となるイベントを同時開催する。

(款) 8 土木費	(項) 1 土木管理費	(目) (3) 建設業指導監督費
(明細書事業名)	○建設業許可事務費	建設産業構造改善推進事業費

所 属	県土整備部技術検査課		
係 名	建設業係	内線	3647

## 【新】 建設 I C T人材育成センター（仮称）の開設・運営[再掲]

1 事業費	49,645（前年度 0）
	【財源内訳】                      【主な使途】
	国庫            23,418            補助金    49,645
	一般財源    26,227

### 2 背景・事業目的

人口減少等により、若年入職者が不足している中、技術者、技能者の高齢化が進み、I C T技術による生産性の向上と人材の育成・確保が喫緊の課題となっている。

このため、建設人材の育成・確保に係る取組みに対し、持続的かつ総合的な支援を行う。

### 3 事業概要

#### （1）建設 I C T人材育成センター（仮称）の開設・運営

建設人材の育成・確保の拠点となる「建設 I C T人材育成センター（仮称）」の開設・運営に要する経費を助成する。

#### （2）建設人材確保・育成事業

「建設 I C T人材育成センター（仮称）」等が実施する、県内建設業に従事する技術者の技術力向上等を目的とした研修や、建設業への入職促進に向けた魅力を発信する事業に要する経費を助成する。

##### ① 建設業人材育成事業

- ・ 建設業者の技術力・経営力向上研修
- ・ 建設 I C Tによる生産性向上研修
- ・ 建設業初任者研修

##### ② 建設業人材確保事業

- ・ 学生に向けた魅力発信（現場見学会、I C T技術体験等）
- ・ 女性に向けた魅力発信（現場見学会、女性技術者等の懇談会）
- ・ 一般に向けた魅力発信（現場見学会）

（款） 8 土木費	（項） 1 土木管理費	（目） (3) 建設業指導監督費
（明細書事業名） ○建設業許可事務費		
建設産業構造改善推進事業費		



所 属	県土整備部河川課・砂防課		
係 名	企画環境係・企画係	内線	3726・3742

## 水害や土砂災害から命を守る地域づくりと人づくりの推進

1 事業費	1,256,174 (前年度 1,010,864)		
	【財源内訳】	【主な使途】	
	国庫 371,000	工事請負費 274,704	
	使用料 22,000	委託料 911,821	
	一般財源 863,174		

### 2 背景・事業目的

近年、頻発している台風や局地的・集中的な豪雨等による水害や土砂災害から人命を守るため、確実な避難・防災活動ができる地域づくりと人づくりのための対策を推進する。

### 3 事業概要

#### (1) 水害から命を守るための対策(624,174千円)

- 確実な避難のための取組み
  - ・危機管理型水位計等を活用した防災情報の収集
  - ・分かりやすくリニューアルした河川情報システムの運用開始
- 的確な水防活動のための取組み
  - ・木曾三川連合総合水防演習・広域連携防災訓練の開催
  - ・指定水防管理団体が実施する水防訓練への資材の支給
- 防災意識向上のための災害リスク情報の周知
  - ・想定最大規模の降雨に対する洪水浸水想定区域図の作成、公表
  - ・市町村の洪水ハザードマップ作成に対する支援

#### (2) 土砂災害から命を守るための対策(632,000千円)

- 土砂災害のおそれのある箇所 の明確化・周知
  - ・土砂災害警戒区域の見直しと住民への周知
- 土砂災害に対する警戒避難体制の整備
  - ・土砂災害警戒情報の提供及び同情報における精度の向上
- 防災意識の向上
  - ・市町村の防災訓練や土砂災害ハザードマップ作成に対する支援

(款) 8 土木費 (項) 3 河川費 (目) (1) 河川総務費 他 (明細書事業名) ○河川諸費 他 効果促進事業費 他
(款) 8 土木費 (項) 4 砂防費 (目) (3) 砂防事業費 他 (明細書事業名) ○公共事業 他 総合流域防災事業費 他

所 属	県土整備部技術検査課・河川課		
係 名	建設技術係・企画環境係	内線	2294・3726

## 清流を次代へつなぐ川づくりと人づくりの推進

1 事業費 195,560 (前年度 185,397)

【財源内訳】		【主な使途】	
国庫	10,000	工事請負費	99,677
県債	18,000	委託料	81,339
使用料	81,254		
繰入金	50,000		
一般財源	36,306		

### 2 背景・事業目的

自然と共生した川づくりや水みちづくりを行うほか、河川が有する水辺の魅力を活用することにより地域資源を掘り起こし、清流を次代へつなぐ取組みを展開する。

### 3 事業概要

#### (1) 自然と共生した川づくりのための人づくり(15,560千円)

- ・小中学校の総合学習における川を題材とした学習への支援
- ・産学民官の関係者による事例発表会の開催
- ・岐阜県自然工法管理士養成のための講習会の開催

※自然共生工法の普及と活用のために必要な知識や技術を習得した方を岐阜県自然工法管理士として知事が認定 (H29.12月時点:3,008名)

#### (2) 水みちづくり(150,000千円)

- ・県管理河川や砂防施設に設置された魚道の維持管理を行うため、県民にフィッシュウェイ・サポーターになっていただき、協働で点検等を実施

※魚道の点検をしていただける県民にフィッシュウェイ・サポーターを委嘱 (H30.1月時点:206名)

- ・地元住民や関係機関と連携した、里川から里山までの水みちづくりのための取組みを継続

#### (3) 河川が有する水辺の魅力の活用(30,000千円)

- ・地域の魅力・活力の向上に向けた取組みへの支援 …糸貫川(北方町)
- ・「かわまちづくり支援制度(国)」を活用した親水空間の整備 …水門川(大垣市)、川浦川(富加町)

(款)8土木費(項)3河川費(目)(1)河川総務費 他  
(明細書事業名)○河川管理費 他  
ぎふの清流保全事業費 他

所 属	県土整備部道路維持課・河川課・砂防課		
係 名	維持管理係・維持係・砂防保全係	内線	3736・3731・3744

## 道路・河川・砂防施設の計画的な維持管理の推進

1 事業費	17,937,682 (前年度 17,021,805)		
	【財源内訳】	【主な使途】	
	国庫	4,349,333	工事請負費 5,728,573
	県債	4,817,100	委託料 8,899,541
	負担金	9,867	
	使用料	1,003,882	
	諸収入	79	
	一般財源	7,757,421	

### 2 背景・事業目的

県が管理する道路施設や、排水機場等の河川管理施設、砂防堰堤等の砂防施設は、洪水や土砂災害、地震などの災害から人命を守る重要な施設である。これらの施設が災害時に確実に機能を発揮するよう、計画的・効率的な維持管理を実施し、施設機能の長期保全を図る。

### 3 事業概要

#### (1) 道路施設 (16,246,682 千円)

【舗装補修】	(主) 岐阜環状線 菅生工区 (岐阜市)
	(主) 多治見白川線 大森工区 (可児市)
	(国) 256号 田瀬工区 (中津川市)
	(主) 神岡河合線 山田工区 (飛騨市) ほか
【橋梁補修】	(主) 山東本巣線 地蔵橋 (揖斐川町)
	(主) 瑞浪大野瀬線 瑞浪大橋 (瑞浪市) ほか
【トンネル補修】	(国) 257号 新日和田トンネル (下呂市)
	(国) 156号 岩瀬2号トンネル (高山市) ほか
【施設点検】	(一) 上白金真砂線 清水山トンネル (岐阜市)
	(一) 赤坂垂井線 赤坂跨線橋 (大垣市) ほか

#### (2) 河川・砂防施設 (1,691,000 千円)

【河川管理施設】	長寿命化・・・旧水門川排水機場 (大垣市) ほか
	耐震化・・・下磯逆水樋門 (大野町)
【砂防施設】	長寿命化・・・新境川 (各務原市) 滝谷 (養老町)
	島口川 (関市)、白谷 (中津川市) ほか

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 (目) (2) 道路橋りょう維持費 他 (明細書事業名) ○公共事業 他 橋りょう補修費 他
(款) 8 土木費 (項) 3 河川費 (目) (3) 河川改良費 他 (明細書事業名) ○公共事業 他 特定構造物改築事業費 他
(款) 8 土木費 (項) 4 砂防費 (目) (2) 砂防維持費 他 (明細書事業名) ○単独事業 他 砂防維持費 他

所 属	県土整備部道路建設課・道路維持課		
係 名	改良係・企画係・市町村道係	内線	3688・3713

## 災害時における道路機能の確保

1 事業費 29,016,736 (前年度 32,887,100)

【財源内訳】

国庫 3,459,512  
 県債 24,518,300  
 負担金 300,154  
 一般財源 738,770

【主な用途】

工事請負費 5,047,690  
 委託料 1,730,717  
 負担金 19,360,000  
 (直轄道路事業負担金)

### 2 背景・事業目的

近い将来、発生が懸念される南海トラフ地震や内陸直下型地震などの災害に備え、早期復旧の要となる緊急輸送道路の機能確保を目的とした整備を推進する。

### 3 事業概要

[道路拡幅等] (国) 257号 川上バイパス (下呂市)  
 (主) 可児金山線 飯高工区 (七宗町)  
 (主) 国府見座線 十三墓峠工区 (高山市)  
 (一) 上野関線 大矢田・半道工区 (美濃市) ほか

[斜面对策] (国) 417号 揖斐工区 (揖斐川町)  
 (国) 156号 前谷工区 (郡上市) ほか

[橋梁耐震] (国) 256号 弥栄橋 (中津川市)  
 (主) 神岡河合線 かじか橋 (飛騨市) ほか

(款) 8 土木費	(項) 2 道路橋りょう費	(目) (2) 道路橋りょう維持費	他
(明細書事業名)	○ 公共事業	他	
	橋りょう補修費	他	

所 属	県土整備部道路維持課		
係 名	安全防災係	内線	3716

## 安全・安心な通学路等の整備の推進

1 事業費	1,230,000 (前年度 1,055,000)		
	【財源内訳】	【主な使途】	
	国庫 551,250	工事請負費 390,500	
	県債 534,200	委託料 425,160	
	一般財源 144,550		

### 2 背景・事業目的

本県では、登下校中の児童等が負傷する交通事故が発生しており、道路管理者、交通管理者、地元自治体等の関係者が通学路における交通安全の確保を図るため、様々な交通安全対策や定期的な合同点検を実施している。

通学路や、死亡事故の発生箇所、重大事故の危険性が高い箇所において、歩道等の整備を行い、道路利用者の安全で安心な通行環境の確保を図る。

### 3 事業概要

【通学路等の歩道整備、交差点改良、防護柵・道路標識の整備等】

- ・(主) 岐阜県南大野線 (岐阜市琴塚)
- ・(一) 揖斐川谷汲山線 (揖斐川町三輪)
- ・(主) 関本巣線 (関市千足～岐阜市中屋東)
- ・(一) 富加坂祝線 (美濃加茂市加茂野町今泉)
- ・(主) 瑞浪上矢作線 (恵那市山岡町下手向)
- ・(一) 谷高山線 (高山市国府町名張) ほか



通学路危険箇所の状況

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 (目) (4) 交通安全対策費 (明細書事業名) ○公共事業 他 交通安全施設等整備事業費 他
---

所 属	県土整備部道路維持課		
係 名	維持管理係	内線	3736

## 除雪体制の強化による冬期交通の安全確保

1 事業費	740,000 (前年度 450,000)
	【財源内訳】
	国庫 420,000
	県債 283,000
	一般財源 37,000
	【主な用途】
	工事請負費 393,000
	備品購入費 246,000

### 2 背景・事業目的

県管理道路の除雪作業は、地元の建設業者等に委託しているが、その委託先となる地元建設業者が、除雪機械を保有していないケースや、オペレーターの高齢化等の問題を抱えており、現状の除雪体制の維持が厳しい状態にある。

このため、平成27年度から県有除雪機械を順次増やし、地元建設業者へ貸与するなど、除雪体制の強化を図っており、今後も、除雪機械や観測機器の増強を図るとともに、地域の安全・安心を確保していく。

### 3 事業概要

#### (1) 保有機械の増強及び車庫の設置

- ・除雪機械（除雪ドーザ、除雪トラック、ロータリー除雪車、凍結防止剤散布機）及びその車庫

#### (2) 県管理道路の観測機器の増強

- ・カメラ、凍結センサー

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 (目) (3) 道路橋りょう改築費 他 (明細書事業名) ○積寒対策道路事業費 他 雪寒機械購入費 他
---

所 属	県土整備部河川課		
係 名	企画環境係・開発係	内線	3726・3723

## 地域を支えるダム建設事業の推進

1 事業費	3,149,815 (前年度 2,139,815)		
	【財源内訳】	【主な用途】	
	国庫	1,633,500	工事請負費 2,600,000
	県債	1,513,200	委託料 363,000
	一般財源	3,115	直轄負担金 149,815

### 2 背景・事業目的

近年、局地的・集中的な豪雨や渇水による被害が全国で発生しており、本県でも、過去に浸水被害を受けている。

こうした浸水被害を回避・軽減するとともに、渇水時における既得用水の安定取水のため、木曾川上流の新丸山ダムや、長良川上流の内ヶ谷ダムの建設を推進する。

### 3 事業概要

(1) 国土交通省：新丸山ダム建設事業（八百津町・御嵩町）  
(149,815 千円)

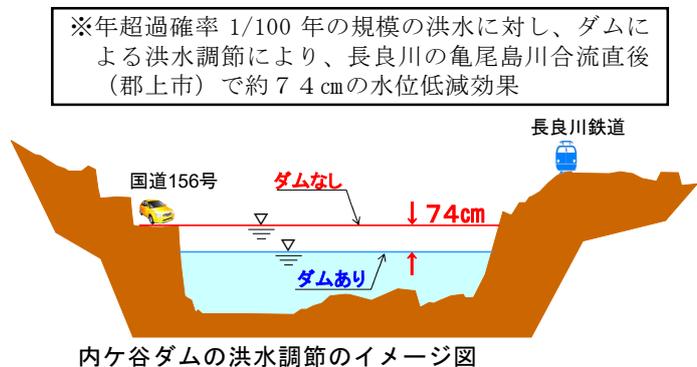
- ・転流工工事、付替道路の整備及び水文調査を実施

(2) 県：内ヶ谷ダム建設事業（郡上市）(3,000,000 千円)

- ・本体基礎掘削、原石山工事、コンクリート打設工事を実施



内ヶ谷ダム完成予想図



内ヶ谷ダムの洪水調節のイメージ図

(款) 8 土木費	(項) 3 河川費	(目) (4) ダム建設費	他
(明細書事業名) ○ 公共事業		他	
		内ヶ谷ダム建設費 他	

所 属	県土整備部河川課・砂防課		
係 名	改良係・砂防保全係	内線	3723・3744

## 水害や土砂災害から命を守る対策の推進

1 事業費	17,802,073 (前年度 16,790,973)		
	【財源内訳】	【主な用途】	
	国庫	4,158,500	工事請負費 7,796,728
	県債	9,183,700	委託料 4,202,819
	使用料	2,005,304	直轄負担金 3,111,000
	一般財源	2,352,769	用地補償費 1,749,900
	その他	101,800	

### 2 背景・事業目的

近年、全国的に台風や局地的・集中的な豪雨等により大規模な水害や土砂災害が頻発し、多くの人命が奪われている。

このため、河川の改修や砂防堰堤の整備等、人命を守るための対策を推進する。

### 3 事業概要

#### (1) 河川施設 (12,176,700 千円)

近年、浸水被害を受けた河川の改修等を計画的・重点的に実施する。

##### 【河川改修】

境川(岐阜市他)、鳥羽川(山県市)、石田川(岐阜市)、伊自良川(岐阜市)、水門川(大垣市)、杭瀬川(大垣市)、津屋川(海津市、養老町)、長良川(関市、美濃市、郡上市)、久々利川(可児市)、土岐川(瑞浪市)、苔川(高山市) ほか

#### (2) 砂防施設 (5,625,373 千円)

流木による被害の危険性が高い箇所や、要配慮者利用施設・防災拠点等のある箇所における砂防堰堤等の整備を計画的・重点的に実施する。

##### 【砂防堰堤 (土石流対策)】

寺ヶ洞(郡上市)、曲坂川(東白川村)、月見2-2谷(多治見市)、宮洞谷(中津川市)、牧戸谷(飛騨市) ほか

##### 【擁壁等 (がけ崩れ対策)】

芥見南山(岐阜市)、西谷2(関ヶ原町)、本都延(関市)、和田(下呂市)、山くろ(高山市) ほか

(款) 8 土木費 (項) 3 河川費 (目) (3) 河川改良費 他 (明細書事業名) ○公共事業 他 広域河川改修費 他
(款) 8 土木費 (項) 4 砂防費 (目) (3) 砂防事業費 他 (明細書事業名) ○公共事業 他 通常砂防費 他

所 属	県土整備部道路建設課		
係 名	高速道路係・改良係	内線	3691

## 東海環状自動車道西回り区間及び I C アクセス道路の整備促進

1 事業費	20,282,667 (前年度 23,085,200)		
	【財源内訳】	【主な用途】	
	国庫 1,180,750	工事請負費 1,642,500	
	県債 18,675,900	委託料 241,576	
	負担金 129,690	負担金 16,666,667	
	一般財源 296,327	(直轄道路事業負担金)	

### 2 背景・事業目的

県では、東海環状自動車道の開通を最重点プロジェクトのひとつとして位置づけ、ミッシングリンク（未開通区間）となっている西回り区間の早期全線開通を目指し、取り組んでいるところである。

また、国においても、三大都市圏環状道路やアクセス道路等を重点的に整備することとしており、西回り区間については全線開通に向けた事業が推進されている。

そのため、県としても、東海環状自動車道の整備事業に重点的に予算配分し、事業が一層促進されるよう、国に対し引き続き要請するとともに、開通時期を見据えたアクセス道路の整備を推進していく。

### 3 事業概要

(1) [国直轄事業]東海環状自動車道西回り区間(16,666,667千円)  
未開通区間において、引き続き、国による用地取得と工事を促進する。

(2) [県事業]アクセス道路整備(3,616,000千円)

- (主) 岐阜美山線 <sup>だいがくきた</sup> 大学北工区 (岐阜市)
- (国) 256号 <sup>たかとみ</sup> 高富バイパス (山県市)
- (国) 157号 <sup>みつはし</sup> 三橋工区 (本巣市)
- (主) 岐阜関ヶ原線 <sup>そうけい んくい</sup> 宗慶・温井Ⅱ期工区 (本巣市)
- (主) 岐阜関ヶ原線 <sup>じょうろくどう</sup> 丈六道工区 (神戸町) ほか



(主) 岐阜関ヶ原線 丈六道工区工事状況

(款) 8土木費	(項) 2道路橋りょう費	(目) (5)直轄事業負担金	他
(明細書事業名)	○公共事業	他	
	直轄道路事業負担金	他	

所 属	県土整備部道路建設課		
係 名	改良係・企画係	内線	3688

## 地域と地域をつなぐ幹線道路等の整備

1 事業費 32,477,150 (前年度 35,178,880)

### 【財源内訳】

国庫 3,380,231  
 県債 27,484,800  
 負担金 766,070  
 一般財源 846,049

### 【主な用途】

工事請負費 6,420,431  
 委託料 2,248,843  
 負担金 19,360,000  
 (直轄道路事業負担金)

## 2 背景・事業目的

観光交流や産業振興のほか、大規模災害時に早期復旧の要となる幹線道路等の整備が求められている。

このため、効率的な物流ネットワークの形成による民間投資の喚起など、そのストック効果を高めるとともに、地域の安全・安心の確保を図るため、幹線道路を中心とした道路ネットワークの整備を推進する。

## 3 事業概要

### (1) 平成30年度中に供用を開始する予定の箇所

[県管理道] (国) 417号 横山鶴見バイパス (揖斐川町) ほか

### (2) その他の主要な継続整備箇所

[直轄国道] 中部縦貫自動車道高山清見道路 (高山市)  
 (国) 19号 瑞浪恵那道路 (瑞浪市～恵那市)  
 (国) 41号 石浦バイパス (高山市) ほか

[県管理道] 濃飛横断自動車道 中津川工区 (中津川市)  
 (主) 岐阜美山線 折立I期工区 (岐阜市)  
 (一) 扶桑各務原線 新愛岐道路 (各務原市)  
 (国) 248号 下恵土工区 (可児市)  
 (国) 360号 種蔵・打保バイパス (飛騨市) ほか



(国) 417号 横山鶴見バイパス工事状況

(款) 8 土木費	(項) 2 道路橋りょう費	(目) (3) 道路橋りょう改築費	他
(明細書事業名) ○公共事業 他			
道路新設改良費 他			